

【助成採択者情報】 ※申請書記載内容に基づく

採 択 年 度

2015 年度

氏 名

上野 尚雄

所 属 機 関

国立がん研究センター中央病院 歯科

課 題 名

唾液メタボロームによる口腔合併症の網羅的研究

助 成 額

500,000 円

研究報告概要

背景と目的：

がん治療に生じる口腔合併症の一つである薬剤関連顎骨壊死は、患者の QOL を著しく障害する可能性があり臨床上の大きな問題となっている。本研究の目的は、薬剤関連顎骨壊死（MRONJ）の診断や治療に活用できる病態マーカーとなる可能性のある微小代謝産物を、唾液という比較的侵襲の低い検体から発見することである。

方法：

薬剤関連顎骨壊死を発症した患者と、骨修飾薬使用前の骨転移患者（コントロール）の 2 群を対象とし、対象者の起床時（朝食摂取前）の唾液（約 0.5mL）を研究試料として採取し、網羅的にメタボロームを解析、MRONJ で共通してみられる特徴的な代謝産物などを特定する。

倫理面への配慮：

関係する全ての研究者はヘルシンキ宣言に従って本研究を実施することを遵守し、個人情報の保護には十分な配慮を行ない、検体材料や診療情報は匿名化する。患者データのやりとりは最大限プライバシーを保護する。また本研究は研究実施計画書および患者への説明文書が施設の倫理審査委員会（IRB）で承認されたのち開始する。

期待される成果：

薬剤関連顎骨壊死に関する研究は、いまだ模索的なものが多く、発生機序も不明で、予防法や対処法も確立されていない。低侵襲に収集できる唾液を研究試料としてメタボローム解析を行うことで MRONJ に特異的な代謝産物が発見されれば、MRONJ の「なりやすさ」の予測因子、あるいは「早期発見」のためのバイオマーカーとして診断や治療に有用であり、その代謝メカニズムの解明の一助となることで MRONJ の本態解明、発症の予防や早期発見、治療法の確立に寄与できる可能性がある。